

| |
|---|
| 熱くて、温かな心で子どもたちに接することです。 |
| 校内のよい取組をしっかりと広めていきたいと思いました。ありがとうございました。 |
| 熱い心と冷静な目が印象に残りました。子どもたちの事実から学び、子どもたちの実態から適切な指導は何かを考えていきたいです。みんなが幸せな学校になるように、本日の研修で学んだことを生かして実践を積み重ねていきたいです。一発目の言葉が刺さりすぎたので、それだけでも受講した価値があったと思います。「熱い心と冷静な目」は、今の私にとって最も必要な心構えだと感じます。例で出されたような、子供への対応は一生懸命でも、専門性がなくてうまくいかなかったというかつての（今もそうですが）自分と重ね合わせて、これからは熱い心は覚まらずに「冷静な目」を鍛えていきたいと思いました。 |
| 質問には竹野先生の解答だけでなく芝田さんからのご感想にも刺激を受ける場面もあり、子供たちのためにもお祭の巡視をしながらの入室になってしまい、申し訳ありませんでした。 |
| 竹野先生の校長としての特別支援の視点をもった学校経営のあり方、大変勉強になりました。もっともお話をお聞きしたかったです。 |
| 熱い心と冷静な目、私も若い頃の突っ走っていた頃を思い出しました。どちらも大切、今の自分の学校のこと今日はありがとうございました。私は通常学級での授業をしていますが、支援の生徒も参加することがあります。元気に授業をすることを心がけていましたが、静かな指導の話は目から鱗でした。支援の生徒に限らずその授業の見通しが立つと、静かな場面が快と感じるのでしょうか。早速やってみようと思います。 |
| 本日は大変貴重なお話を聴くことができました。ありがとうございました。竹野先生が校長先生であれば、教職員のWell-beingが向上するのではないかと羨ましく拝聴しておりました。また、次回のシリーズもお聴きしたいと思います。さて、現任校では、教科教育の研究をしておりますが、結局一番大切なのは、日々の学級経営なのだと感じています。また、これからの時代の教育は「多様性」なのだと考えます。授業の中で言えば、多様性に触れることで、コンテンツベースからコンピテンシーベースへの学びとなり、子どもたちの資質能力が向上するのはないでしょうか。多様性に触れるとは、授業でいえば「協働的な学び」が重要になってくるよ |
| 大変勉強になりました。 |
| 来週、本校の先生方とともに「本校をもっとよくするには？」のテーマでアットホームなワークショップを行います。 |
| コンセプトは、「先生が元気で楽しく働ければ、きっと子どもたちに還元される」です。 |
| まさに「教師のウェルビーイングの確保の重要性」と一致します。 |
| ワークショップ前に本研修での学びを先生方に伝えようと思います。 |
| 大変勉強になりました。学校や子供が好きで先生になったはずなのに、忙しさや余裕のなさ、自分の力量不足への自己肯定感の低下から、学校での仕事を楽しくていない時もあるなど自分で実感しています。そのような中、今日、竹野校長先生からのウェルビーイングの話をお聞かせいただき、「自分がまずは楽しもう！」と前を向く気持ちになりました。質疑応答でケース会議の仕方の具体を教えてください、センター的機能で巡回相談に行く際に活用させていただきたいと思います。最近は、課題が目に見えにくい子（静かに教室に存在し |
| ウェルビーイングという言葉を知りました。現在の教育の中で大切にしていかなければならない考え方ですね。四月から教頭になり、学校体制として考えさせられました。 |
| 支援員のフォロー体制にも考えさせられました。専門性がない中で、支援に入ってもらっているので、難しいですね。時にはいない方がよい場合もあり、悩ましいです。 |
| 私は教諭時代、児童に指示しながら、支援員の動きにも指示を出していました。 |
| 人材育成が叫ばれる中で、職員の専門性も高めなくてはなりません。働き方改革も大切にしながら、うまくやっていきたいものです。 |
| 今日は、ありがとうございました。講義を聞いて、子どもたちをwell-beingな状態にするために、支援する私自身がその状態である必要があるんだと認識しました。2学期は「いかに静かな場面を作るか」考えながら指前期前半集会では、「校長先生の日記」というプレゼンで、子どもたちの写真が登場し、さらによかったところを褒めておられたので、子どもたちはとても嬉しいだろうと思いました。また子どもたちだけでなく、先生方も登場していたので、みんなで子どもたちを見ているという教職員側の一体感もうまれると思いました。 |
| また、たくさん質問したにも関わらず、丁寧に教えていただき、本当にありがとうございました。ウェルビーイングについて、しっかりと学んでいきたいです。 |
| 毎回この会に参加するたびに、自分の学級経営や、子供たちとのかわりを振り返って反省させられます。「熱心な無理解者」にならないように、気を付けなければ...と思います。未熟な人間なので、静かな指導ができるように心がけたいです。また、自分も教員年数をそれなりに重ね、若手の先生方に相談されることも多くなりました。自分の失敗談も含めて、今日教えていただいたことを困っている先生方にも伝えていきたいなと思います。 |
| 芝田先生、今回の研修会のご案内ありがとうございました。本校からは、私のほかにもう一人参加させていた |

①ウェルビーイングな学校づくりに、特別支援教育の視点が重要となることを確認できました。

②愛着の課題についても詳しく勉強したいです。

③前期前半まとめの会「校長先生日記」の講話を通して、入の小学校の子供たちも先生たちも《やりがい》をもって学校生活を送ってきたことを実感して夏休みを迎えられたことと想像しました。まさにウェルビーイングな学校!!。

④学校づくり（全体指導）の五つ目の「ちょこっとアドバイスA4版」はどのくらいの期間で発行されるのでしょうか？私も既刊号を含めて、毎号、発行されるたびに拝読したいです!!

⑤あっという間の1.5時間でした。本日の元気の出るお話を聞かせていただいて、明日からのエネルギーになりました。

竹野校長先生、本日はありがとうございました。

3 実態把握 のところをもう少し聞けるとよかったです。

支援学校勤務の時と小学校勤務の今では、実態把握を重視していた支援学校と診断名で対応を考えている小学校の違いを感じました。

診断名ではなく実態把握のもと対応を考えていくというスタイルを、23、24ページの図をもとにもう少し詳しく話していただけると、若い先生方の意識改革になったのでは無いかと考えます。